



PRINCESS CRUISES

<プレスリリース>

2013年9月13日

サン・プリンセス 2013 日本発着クルーズで実施した 船上チャリティー・ウォークで 特定非営利活動法人 NPO カタリバに 200 万円寄付

プリンセス・クルーズの慈善団体であるプリンセス・クルーズ・コミュニティ財団は、
2014 年も同企画を実施し、東日本大震災で被災した子どもたちへの支援を継続

(2013年9月13日 - 東京) プリンセス・クルーズはサン・プリンセスの船上で実施したチャリティー・ウォークによる、東日本大震災で被災した子どもたちへ学びの場を提供する特定非営利活動法人 NPO カタリバ(以下、カタリバ)への寄付総額が、200 万円に達したことを発表した。日本発着クルーズの初シーズンである 2013 年、およそ 700 人の乗船客がこの特別なチャリティー・イベントに参加した。

このイベントは、4 カ月間にわたる日本発着クルーズの期間中、乗船客が参加費として寄付金 15 米ドルを支払い、船の外周デッキを 3km ウォーキングするというもの。参加費の総額とともに、プリンセス・クルーズの慈善団体であるプリンセス・クルーズ・コミュニティ財団からその同額を寄付し、寄付の総額は 200 万円となった。

プリンセス・クルーズは、客船を 2 隻に増やし 10 万人の乗客を見込んでいる 2014 年の日本発着クルーズにおいても、特別イベントとしてカタリバへの支援を目的とした船上チャリティー・ウォークを実施することを決定している。ウォーキング後は、飲み物と軽食が用意され、参加者一人ひとりに達成記念のリストバンドがプレゼントされる。

「この特別なチャリティー・ウォークを通じ、ご支援くださったすべての乗船客の皆様にご感謝申し上げます。皆様のお力添えにより、復興支援活動として 200 万円を寄付することができました。来年は規模を拡大し、より一層多くのお客様にご参加いただき、今年以上の貢献を目指したいと思っております。お客様と共に、想像を絶する悲劇に見舞われた子供たちの生活に、良い変化を与えることができればと願っております。」と、プリンセス・クルーズの社長兼 CEO アラン・バクルーは語った。

プリンセス・クルーズは 2014 年、2 隻の客船による魅力的な 10 コースで、合計 42 本のクルーズを提供する。どちらの客船も大規模な改装が実施され、日本人客にアピールする特別な設備を備える予定。

ダイヤモンド・プリンセスは横浜をホームポートとした 10 日間の日程で、台湾、韓国、北海道、ロシアのほか、日本の 15 港を訪れる 6 つのコースを 4 月から 10 月の期間運航する。人気の高いゴールデンウィークシーズンには、博多のお祭りを見学し、ダイヤモンド・プリンセスの 10 周年を記念して、生誕の地である長崎へ里帰りをする 11 日間の特別コースを提供する。

サン・プリンセスは、小樽発着 8 日間のコースや、2 種類の神戸発着 9 日間のコースを設定。小樽を母港とするのは外国客船で初めてとなる。比較的短期の日数のクルーズを用意することで、1 週間程度のクルーズを希望する現役世代にアピールするとともに、北海道をめぐるコースで、快適な避暑を提供する。また、サン・プリンセスは、石垣島、奄美大島、網走、台湾の花蓮に初寄港する予定だ。

以上

お問い合わせは 株式会社カーニバル・ジャパンまで TEL:03-3573-3610 <http://www.princesscruises.jp>